

(様式2)新規評価シート

林務部 森林づくり推進課

| | | | | | | |
|---------|--|--|---------------------------------|------------|-----------|---------------------|
| 事業名 | | 水源地域等保安林整備 | | 路河川名等 | | |
| 事業毎の通番 | | 1 | 市町村名 | 飯島町 | 箇所名(ふりがな) | 高遠入沢(たかとおいさわ) |
| 事業概要 | 事業目的 | 計画地は、上伊那郡飯島町の西側地域を走る中央自動車道から約600m上部のヒノキ林地帯に位置しており、下流部には中央道のほか、人家、農地が点在する農村地帯となっている。当該溪流上部には、過去に発生した崩壊地があり、その直下には当時の崩落土砂が堆積し、不安定な状態となっている。また、周囲はヒノキ林となっているが、手入れがなされておらず、表土の流亡が認められる。今後、集中豪雨により、溪流内の不安定土砂の流下、森林内の表土の流出により、下流の人家等に甚大な被害をもたらす恐れがあるため、谷止工の施工とあわせ森林整備を実施し、下流保全対象の土砂災害の抑止を図りたい。 | | | | |
| | しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け | 4-1 県土の強靱化(災害に強いインフラ整備) | | 事業実施の根拠法令等 | 森林法 | |
| | 関連する事業、計画等 | 砂防事業 | | | | |
| | 保全対象・範囲 受益対象・範囲 | 中央自動車道130m、県道850m、人家28戸ほか | | | | |
| | 着手年度 | 平成30年度 | 事業期間 | 3年間 | 事業費(千円) | 財源内訳(千円) |
| | 完成年度(見込み) | 平成32年度 | 費用対効果 | 10.2 | 国庫 | その他 県債 一般財源 |
| | 全体事業内容(主な工種) | 谷止工(コンクリート)2個 森林整備(本数調整伐)22.4ha | | | 60,700 | 30,350 27,000 3,350 |
| | 事業効果 | 直接的効果(定量的・定性的) | 中央自動車道130m、県道850m、人家28戸ほかの保全 | | | |
| | | 間接的効果(定量的・定性的) | なし | | | |
| | 評価の視点 | 必要性 | ○人家戸数: | 28戸 | 評価 | A |
| | | ○公共施設数: | 中央自動車道130m、県道850m | | | |
| | | ○災害時要援護者関連施設の有無: | なし | | | |
| | | ○保安林・林業用施設: | 64.10ha/68.07ha=94.2% | | | |
| 重要性 | | ○過去の災害履歴: | 昭和58年9月の台風10号により土石流が発生し人家が被災した。 | 評価 | A | |
| | | ○交通遮断による地域経済への影響: | 中央自動車道の被災による物流等への影響が懸念される。 | | | |
| | ○地域防災計画上の位置付け: | なし | | | | |
| 効率性 | 費用便益比(B/C) | 10.23 | 評価 | B | | |
| | 事業期間 | 3年間(H30~H32) | | | | |
| | 工法等の比較検討 | なし | | | | |
| 緊急性 | 流域の総合調整 | 土地所有者である中川村と調整中 | | | 評価 | |
| | 流域の地形、地質 | 花崗岩 | A | | | |
| | 平均渓床勾配(平均山腹勾配) | 平均斜面勾配 20° | | | | |
| | 下流の堰堤等の整備状況 | なし | A | | | |
| | 山地災害危険地区危険度・土砂災害防止法指定区域 | Aランク(山地災害危険地区指定手続き中) | | | | |
| 計画熟度 | 事業情報の共有 | H29.11.30、事業について中川村役場(土地所有者)へ情報提供 | | | 評価 | |
| | 地域の取り組み | H30.4、事業について土地所有者へ情報提供の予定 | | | B | |
| | 地域の合意形成 | なし | | | | |
| 所管課意見 | 住民との協働 | なし | | | 総合評価 | |
| | 当該地は地質が脆弱で、過去の崩落土砂が溪流内に堆積しており、また、手入れ不足による森林の荒廃も見られる。今後の豪雨等により、下流の人家等や高速道路に土砂が流出する恐れがあるため、溪間工、森林整備による対策工を行う必要がある。 | 採択状況 | ○ | A | | |
| 技術管理室意見 | 所管課の意見を適当と認める。 | | | | | |

| | | | |
|----------|--------------------|---|---|
| 事業概要説明図表 | 【位置図】 | | |
| | 【平面図】 | | |
| 事業概要説明図表 | 【状況写真】 | | |
| | 事業周辺環境 | ①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景 | 昭和58年台風10号により土石流が発生し、下流の人家が被災した経過がある。 |
| | ②地域からの要望経緯及び地域の関わり | 保全対象に中央自動車道や主要地方道があり、地元からの要望が強い。 | |
| | ③事業説明等の経緯 | 町及び地域振興局所で現地調査を行い、被災原因と今後の対応を検討した。今後関係者に周知する予定。 | |
| | ④他事業・プロジェクトとの整合、関連 | 通常砂防事業(砂防堰堤)の計画がある。 | |
| | ⑤自然環境・生活環境への影響と配慮 | コンクリート構造物のみに頼るのではなく、土砂流出を抑止するための「災害に強い森林」の造成など、森林の持つ機能を活かし、自然環境に調和した整備を取り入れる。 | |
| | ⑥地域活性化への影響と配慮 | 本事業により物流などのライフラインの安全が担保され、地域経済の活性化への悪影響が除かれる。 | |
| | ⑦その他 | 事業代表地点の緯度経度 | 北緯:N 35° 38' 50" 19 東経:E 137° 53' 17" 70 |